

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
国語	古典探究	現代の国語と言語文化を履修していること		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月2日
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	高等学校 標準古典探究（第一 古探720）、学習書	成績評価の方法	学習態度、テスト、レポートの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。	

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月19日	古文【説話】『古今著聞集』より「小式部の内侍が…」		P16～P17	1	4月26日		
第2回	4月26日	古文【物語】『伊勢物語』より「初冠」		P36～P37	2	5月10日		
第3回	5月10日	漢文【故事】『朝三暮四』		P144～P145	3			
第4回	5月17日	漢文【故事】『史記』より「鴻門の会」①		P186～P188	〃			
第5回	6月7日	漢文【故事】『史記』より「鴻門の会」②		P188～P190	〃	6月21日		
第6回	6月21日	古文【随筆】『徒然草』より「相模守時頼の母は」		P24～P25	4	7月5日		
テスト	6月28日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	7月5日	古文【和歌】『万葉集』『古今和歌集』より①		P68～P73	5			
第8回	7月19日	古文【和歌】『万葉集』『古今和歌集』より②		P68～P73	〃	8月23日		
第9回	8月23日	漢文【思想】「仁人心也」「柔弱」「蝴蝶の夢」		P204～P205	6	8月25日		
テスト	9月6日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

第1回	10月11日	古文【随筆】『枕草子』より「すさまじきもの」		P64～P65	7	10月25日		
第2回	10月25日	古文【物語】『大鏡』より「弓争ひ」		P102～P103	8			
第3回	11月8日	古文【物語】『大鏡』より「三舟の才」		P104～P105	〃	11月15日		
第4回	11月15日	漢文【逸話】『説苑』より「不顧後患」		P178～P179	9			
第5回	11月29日	漢文【漢詩】		P158～P161	〃	12月6日		
第6回	12月6日	古文【日記】『紫式部日記』より「日本紀の御局」		P110～P111	10			
テスト	12月13日	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	12月20日	古文【日記】『紫式部日記』より「日本紀の御局」		P110～P111	10	1月10日		
第8回	1月10日	古文【評論】『無名草子』より「清少納言」		P130～P131	11	1月17日		
第9回	1月17日	漢文【史話】「水魚之交」		P148～P150	12	1月25日		
テスト	1月31日	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要面接時間は4回ですが、なるべく全てのスクーリングに出席するよう心がけること。</li> <li>レポートの提出期限を守り、本試験での受験を心がけること。</li> </ul>
--------	--

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
地理歴史	日本史探究	「歴史総合」履修後		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
後期 2	後期 9	後期 2	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・ 学習書等	東京書籍 『日本史探究』（日探-701） 浜島書店 『新詳日本史』	成績評価の方法	平常点（授業態度）、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
後期	第1回	10月4日			p.8～p.33	1	10月25日	
	第2回	10月11日						
	第3回	10月25日	3 律令国家の形成と白鳳文化 4 平城京と天平文化 2節 摂関政治と貴族文化		p.34～p.69	2	11月8日	
	第4回	11月8日	第2編 中世の日本と世界 第1章 中世社会の成立 第2章 歴史資料と中世の展望 第3章 中世社会の展開 1節 鎌倉幕府の誕生		p.70～p.97	3	11月15日	
	第5回	11月15日	まとめ					
	テスト	11月29日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう	
	第6回	12月6日	2節 武家支配の広がり国際交流		p.98～p.122	4	12月13日	
	第7回	12月13日	第3編 近世の世界と日本 第1章 近世社会の形成 第2章 歴史資料と近世の展望 第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立 4 武断政治から文治政治へ まで		p.123～p.157	5	12月20日	
	第8回	12月20日	5 幕藩体制下の社会の発展 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺		p.158～p.186	6	1月10日	
第9回	1月10日	まとめ						
テスト	1月17日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	各レポートの提出期限を遵守すること。テストまでに対象のレポートが全て合格していること。テスト当日にレポートを提出しても受験できないので注意すること。
--------	--

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
公民	倫理	「公共」履修後		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 2	前期 2	前期 6	前期 9月2日

教科書・学習書等	教科書：「倫理」（東京書籍：倫理 701） 学習書：「テオリア 最新倫理資料集」（第一学習社）	成績評価の方法	平常点（授業態度）、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとしている。	

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月19日	人間の心のあり方		p. 8 ~42	1	5月10日		
第2回	4月26日							
第3回	5月10日	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ		p. 43 ~81	2	5月17日		
第4回	5月17日	国際社会に生きる日本人としての自覚		p. 150 ~182	3	6月7日		
第5回	6月7日	まとめ						
前期 テスト	6月21日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	6月28日	西洋思想と日本人の近代化		p. 183 ~205	4	7月5日		
第7回	7月5日	さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ		p. 82 ~147	5	7月19日		
第8回	7月19日	現代の諸課題と倫理		p. 121 ~140 p. 206 ~235	6	8月23日		
第9回	8月23日	まとめ						
テスト	9月6日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）	受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	各レポートの提出期限を遵守すること。テストまでに対象のレポートが全て合格していること。テスト当日にレポートを提出しても受験できないので注意すること。
--------	--

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
公民	政治・経済	「公共」履修後		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
後期 2	後期 9	後期 2	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・ 学習書等	教科書：「政治・経済」（東京書籍：政経701） 学習書：「最新政治・経済資料集2026」（第一学習社）	成績評価の方法	平常点（授業態度）、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養っている。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深めようとしている。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月11日	民主政治の基本原則		p. 6 ～47	1	11月8日		
第2回	10月25日							
第3回	11月8日	日本の政治機構 国際政治のしくみ		p. 48 ～78 p. 172 ～189	2	11月15日		
第4回	11月15日	現代日本の経済		p. 80 ～100	3	11月29日		
第5回	11月29日	まとめ						
後期 テスト	12月6日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→				受験しなかった場合は再試を申し込みましょう
第6回	12月13日	日本経済の発展と現状		p. 101 ～130	4	12月20日		
第7回	12月20日	福祉社会と日本経済の課題 国民経済と国際経済		p. 131 ～155 p. 206 ～219	5	1月10日		
第8回	1月10日	世界経済の現状と課題		p. 220 ～235	6	1月17日		
第9回	1月17日	まとめ						
テスト	1月31日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→				受験しなかった場合は再試を申し込みましょう

履修上の注意	各レポートの提出期限を遵守すること。テストまでに対象のレポートが全て合格していること。テスト当日にレポートを提出しても受験できないので注意すること。
--------	--

日曜

3年


教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
数学	数学A	数学Ⅰ履修後、または数学Ⅰと並行して		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	東京書籍 改訂版 新 数学A (002-905, 02-906) NHK出版 新 数学A 学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
----------	---	---------	-------------------------

学習の到達目標		
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力を身に付けている。 不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付けてい	数学のよさを認識し数学を活用しようとして、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしていたりしている。

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月4日	場合の数		p4～p21	1			
第2回	10月11日	場合の数 確率①		p4～p29	1,2	10月25日		
第3回	11月8日	確率①		p22～p29	2	11月15日		
第4回	11月15日	確率②		p30～p37	3			
第5回	11月29日	確率② 平面図形の基礎		p30～p49	3,4	12月6日		
第6回	12月6日	平面図形の基礎		p40～p49	4	12月13日		
テスト	12月13日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	12月20日	三角形の性質		p50～p57	5			
第8回	1月10日	三角形の性質 円の性質、空間図形		p50～p75	5,6	1月17日		
第9回	1月17日	円の性質、空間図形		p58～p75	6	1月27日		
テスト	1月31日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意		←NHK高校講座を活用してください
--------	---	-------------------

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
理科	地学基礎	なし			選択必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 8	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	

教科書・ 学習書等	東京書籍 『改訂 地学基礎』 (地基002-901) NHK出版 地学基礎 学習書	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度, レポート, テストの成績を総合的に評価
		NHK高校講座 「地学基礎」		
地球や地球を取り巻く環境に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察, 実験を行うことなどを通して, 地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら, 地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。		観察, 実験などの結果から, 科学的に探究する力を養う。		地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり, 科学的に探究しようとする態度と, 自然環境の保全に寄与する態度を養う。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲 (レポート番号)	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月26日	・大地とその動き			p 12~29	1			
第2回	5月10日	・地震 ・火山活動			p 30~47	1.2	<b>No.1 5月17日</b>		
第3回	5月17日	・火山活動 ・地球大気 of 構造			p 48~73	2	<b>No.2 5月31日</b>		
第4回	5月31日	・大気の特徴とその運動 ・海水の特徴とその運動			p 74~89	3			
第5回	6月7日	・海水の特徴とその運動 ・日本の天気と気象災害 ・宇宙の構造と進化			p 90~113	3.4	<b>No.3 6月21日</b>		
第6回	6月21日	・宇宙の構造と進化 ・太陽系の誕生 ・地層と化石の観察			p 114~139	4	<b>No.4 6月28日</b>		
テスト	6月28日	<b>第1回テスト (範囲: レポート1, 2, 3)</b>		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	7月5日	・地層と化石の観察 ・古生物の変遷と地球環境			p 140~155	5			
第8回	7月19日	・古生物の変遷と地球環境 ・日本の自然の恵みと防災			p 156~175	5.6	<b>No.5 8月23日</b>		
第9回	8月23日	・地球環境と私たちの生活 ・これからの地球環境			p 176~189	6	<b>No.6 8月31日</b>		
テスト	9月6日	<b>第2回テスト (範囲: レポート4, 5, 6)</b>		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	必要面接時間数が多いので欠席しないこと。レポートが合格していないとテストを受けることはできません。レポート提出期限を守ってください。
--------	--

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
理科	科学と人間生活	なし			選択必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
後期 2	後期 9	後期 8	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・ 学習書等	東京書籍 『改訂 科学と人間生活』 (科人002-901) NHK出版 科学と人間生活 学習書	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度, レポート, テストの成績を総合的に評価
		NHK高校講座 「科学と人間生活」		
学習の到達目標				
物質とその変化に関わり, 理科の見方・考え方を働かせ, 見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して, 物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら, 物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに, 科学的に探究するために必要な観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。		科学と人間生活の関わりについて, 見通しをもって観察, 実験などを行い, 得られた結果を分析して解釈し, 表現するなど, 科学的に探究している。		科学と人間生活の変化に主体的に関わり, 見通しをもって振り返り振り返りするなど, 科学的に探究しようとしている。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲 (レポート番号)	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月11日	1編 生命の科学 1章 微生物とその利用	2, 3		p16~39	1			
第2回	10月25日	2章 ヒトの生命現象	4, 5		p40~55	1.2	No. 1 11月1日		
第3回	11月1日	2章 ヒトの生命現象 2編 物質の科学 1章 衣料と食品	6, 10, 11		p56~77	2	No. 2 11月8日		
第4回	11月8日	2章 材料とその利用	7, 8		p78~101	3			
第5回	11月15日	2章 材料とその利用 3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用	9, 12, 13		p102~123	3.4	No. 3 11月29日		
第6回	11月29日	2章 熱の性質とその利用	14, 15		p124~145	4	No. 4 12月6日		
テスト	12月6日	第1回テスト (範囲: レポート1, 2, 3)			受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	12月13日	2章 熱の性質とその利用 4編 宇宙や地球の科学 1章 自然景観と自然災害	16, 19		p146~165	5			
第8回	12月20日	1章 自然景観と自然災害 2章 太陽と地球	20, 17		p166~185	5.6	No. 5 1月10日		
第9回	1月10日	2章 太陽と地球	18		p186~201	6	No. 6 1月17日		
テスト	1月31日	第2回テスト (範囲: レポート4, 5, 6)			受験したら○→		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	必要面接時間数が多いので欠席しないこと。レポートが合格していないとテストを受けることはできません。レポート提出期限を守ってください。
--------	--

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
保健体育	体育③	なし		必修修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 1	前期 7	前期 5	前期 1	前期 2	前期 9月 2日
後期 1	後期 7	後期 5	後期 1	後期 2	後期 1月27日

教科書・学習書等	大修館書店 現代高等保健体育701・NHK出版学習書	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
各種の運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動をするための課題を発見し、親しむ態度を養う。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
体育理論との関連を図り、選択した種目の基本的な技術を身に付ける。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的に解決することができる。	公正に対する意識を強く持ち、性別や年齢、障がいの有無にかかわらずスポーツを楽しむことができる。	

面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日		
前期	第1回	4月26日		オリエンテーション 体育理論 (No, 1について)		P164~P171	1	5月10日		
	第2回	5月10日		体育理論 (No, 2について)		(学習書) P96~99	2	5月31日		
	第3回	5月31日		体づくり運動						
	第4回	6月7日		バドミントン・ソフトバレーボール・ダンスより選択						
	第5回	6月28日		〃						
	第6回	7月5日		〃						
	第7回	7月19日		〃						
	テスト	9月6日			第1回テスト（範囲：レポート1，2）		受験したら〇➡			

後期	第1回	10月4日		オリエンテーション 体育理論 (No, 3について)		P172~P180	3	10月11日		
	第2回	10月11日		体育理論 (No, 4について)		(学習書) P100~103	4	10月25日		
	第3回	10月25日		体づくり運動						
	第4回	11月8日		バスケットボール・サッカー・ニュースポーツより選択						
	第5回	11月29日		〃						
	第6回	12月6日		〃						
	第7回	12月13日		〃						
	テスト	1月31日			第2回テスト（範囲：レポート3，4）		受験したら〇➡			

履修上の注意	前後期、第1回、第2回およびテストは教室で行うため体操服は不要。教科書・学習書・レポートを持参すること。前後期、第3回～第7回は体育館で行う。本校指定の体操服・シューズで参加すること。テストの出席は必要面接時間数には入りません。必要面接時間の5時間で授業をとってください。
--------	--

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件	必履・選択必履・選択の別	担当教員
芸術	音楽 I	なし	選択必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数
前期 2	前期 9	前期 8	前期 2	前期 6
レポート・放送視聴票最終締め切り日 前期 9月 2日				

教科書・学習書等	大修館(音 I 050-901) 音楽 I 改訂版Tutti+、NHK出版学習書	対応視聴番組※ NHK高校講座「音楽 I」※	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標				
音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲(レポート番号)	対応視聴番組※の回	出席記録	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月19日	校歌 音楽とは?	1, 2		1	5月10日		
第2回	4月26日	音楽の仕組みの第一歩	4, 5, 6					
第3回	5月10日	いろいろな楽器・楽曲・演奏形態を知ろう	15, 17		2	5月17日		
第4回	5月17日	「野ばら」「シューベルト」を知ろう	20, 21		3	5月31日		
第5回	5月31日	やさしい西洋音楽史① (No.6のレポートを持参すること)	8, 14, 15, 17, 21, 30		6			
前期 テスト	6月7日	<b>第1回テスト(範囲:レポートNo.1~3)</b> 教科書・学習書持ち込み可		受験したら○ →		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第6回	6月21日	外国の歌曲を比べてみよう	19, 23, 35		4	6月28日		
第7回	6月28日	ミュージカルと映画音楽	33, 36		5	7月19日		
第8回	7月19日	日本の歌曲を歌おう	7, 9, 10		6	8月26日		
第9回	8月23日	やさしい西洋音楽史②	21, 25, 26, 31					
テスト	9月6日	<b>第2回テスト(範囲:レポートNo.4~6)</b> 教科書・学習書持ち込み可		受験したら○ →		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	毎回、資料のプリント、レポート持参のこと。 必要面接時間数が多いので欠席しないこと。 レポートが合格していないとテストを受けることはできません。レポート提出期限を守ってください。
--------	---

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件	必履・選択必履・選択の別	担当教員
芸術	美術 I	なし	選択必履修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数
前期 2	前期 9	前期 8	前期 2	前期 6
				レポート・放送視聴票最終締め切り日
				前期 9月 2日

教科書・ 学習書等	日文(美 I 116-901)新・高校美術 1、 NHK出版学習書	対応視聴番組※ NHK高校講座 「美術 I」※	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を 総合的に評価
学習の到達目標				
美術の創作活動を通じて、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。				
知識・技能	思考・判断・表現			
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。		主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲(レポート番号)	対応視聴番組※の回	出席記録	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月19日	アート思考について	1, 2, 3		1	4月26日		
第2回	4月26日	樹を描く	4, 5, 6		2	5月10日		
第3回	5月10日	樹を描く 積み木または座りにくい椅子(2択)	7, 8		3	5月17日		
第4回	5月17日	2択 課題仕上げ	9, 10			5月24日までに 作品提出		
テスト	5月31日	第1回テスト(イメージーションテスト I)		受験したら○ →		受験しなかった場合は 再試を申し込みましょう		
前期 第5回	6月7日	仮面の制作	11, 12		4	6月21日		
第6回	6月21日	仮面の制作 仮面の自画像	13, 14		5	6月28日		
第7回	6月28日	仮面の自画像	15, 16		6	8月23日		
第8回	7月19日	仮面の自画像	17, 18					
第9回	8月23日	冊子づくり	19, 20			8月26日までに 作品提出		
テスト	9月6日	第2回テスト(イメージーションテスト II)		受験したら○ →		受験しなかった場合は 再試を申し込みましょう		

履修上の注意	作品が提出され合格していないとテストを受けることはできない。 必要面接時間数が多いので欠席しないこと。
--------	--

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
芸術	書道 I	なし			選択必修	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 8	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	

教科書・ 学習書等	東京書籍（書 I 002-901） 書道 I、NHK出版学習書	対応視聴番組※	成績評価の 方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		NHK高校講座「書道 I」※		
学習の到達目標				
書道の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、書写能力を高め、表現と鑑賞の基礎的能力を伸ばす。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
日常生活における書の効用や日本及び中国等の書の文化などを理解し、そのよさや美しさを味わう。		創造的な表現をするために書写能力を高め、用具・用材を生かして表現する力を身に付ける。		書を愛好し、意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わう。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月19日	書写から書道へ 用具用材の扱い方・基本点画	1, 2		p. 4～p. 11				
第2回	4月26日	楷書の学習① 九成宮醴泉銘・孔子廟堂碑 (表現の比較を通して特徴を捉える・レポート1)	3, 4		p. 14～p. 27	1	5月10日		
第3回	5月10日	楷書の学習② 雁塔聖教序・自書告身 (表現の比較を通して特徴を捉える・レポート2)	5, 6		p. 28～p. 35	2	5月17日		
第4回	5月17日	楷書の学習③ 楷書古典の臨書作品制作 (好きな楷書古典の臨書作品を制作・レポート3)	9, 10		p. 18～p. 41	3	6月7日		
第5回	5月31日	楷書の学習③ 楷書古典の臨書作品制作 (好きな楷書古典の臨書作品を制作・レポート3)	11, 12						
第6回	6月7日	行書の学習① 蘭亭序(レポート4)	7, 13		p. 42～p. 52	4	6月21日		
テスト	6月21日	第1回テスト(硬筆)(範囲:レポート1, 2, 3)		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			
第7回	6月28日	行書の学習② 風信帖(レポート5)	8, 17		p. 56～p. 62	5	7月19日		
第8回	7月19日	漢字仮名交じりの書① (古典の書き下し文・レポート6)	14, 15, 16		p. 108～p. 127	6	8月26日		
第9回	8月23日	漢字仮名交じりの書② (古典の書き下し文・レポート6)	19, 20						
テスト	9月6日	第2回テスト(硬筆)(範囲:レポート4, 5, 6)		受験したら○➡		受験しなかった場合は再試を申し込みましょう			

履修上の注意	半紙は各自持参、もしくは授業時に購入となります。 必要面接時間数が多いので欠席しないこと。 レポートが合格していないとテストを受けることはできません。レポート提出期限を守ってください。
--------	--

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件			必修・選択必修・選択の別	担当教員
外国語	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅠを修得した人			選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締め切り日	
前期 2	前期 9	前期 8	前期 2	前期 6	前期 9月 2日	
後期 2	後期 9	後期 8	後期 2	後期 6	後期 1月27日	

教科書・学習書等	東京書籍 All Aboard! English Communication II (2 東書 CII 701)、学習書	対応視聴番組※ NHKテレビ高校講座 英語コミュニケーションⅡ	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標				
英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどの総合的な能力を養う。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
外国語の学習を通じて、言語やその運用に関する知識を身につけていると共に、その背景にある文化などを理解している。また、外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを適切に理解している。		外国語で話したり聞いたりして、情報や自分の考えなどを思考・判断し、適切に整理して伝えている。		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	対応視聴番組※の回	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月19日	オリエンテーション Lesson 1 A Colorful Island	3回・4回		pp 10~17				
第2回	4月26日	Lesson 1 A Colorful Island Lesson 2 With the Beatles	5回・6回		pp 10~17 pp 20~27	1	5月10日		
第3回	5月10日	Lesson 2 With the Beatles	7回・8回		pp 20~27	2	5月17日		
第4回	5月17日	Lesson 3 Wild Men	9回・10回		pp 30~39				
第5回	5月31日	Lesson 3 Wild Men Lesson 4 Little Hero	11回・12回		pp 30~39 pp 42~51	3	6月7日		
第6回	6月7日	Lesson 4 Little Hero	13回・14回		pp 42~51	4	6月21日		
テスト	6月21日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	6月28日	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki	15回・16回		pp 56~67				
第8回	7月5日	Lesson 5 Special Makeup in Kabuki Reading 1 Mujina	17回・18回		pp 56~67 pp 70~75	5	7月19日		
第9回	8月23日	Reading 1 Mujina	2回・21回		pp 70~75	6	8月30日		
テスト	9月6日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

第1回	10月4日	Lesson 6 Seeds for Future Generations	19回・20回		pp 78~89				
第2回	10月11日	Lesson 6 Seeds for Future Generations Lesson 7 Over the Wall	22回・23回		pp 78~89 pp 92~103	7	10月25日		
第3回	10月25日	Lesson 7 Over the Wall	24回・25回		pp 92~103	8	11月1日		
第4回	11月8日	Lesson 8 Inspiration from Nature	27回・28回		pp 106~117				
第5回	11月15日	Lesson 8 Inspiration from Nature Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	30回・31回		pp 106~117 pp 120~131	9	11月29日		
第6回	11月29日	Lesson 9 The Bitter Truth behind Chocolate	33回・34回		pp 120~131	10	12月6日		
テスト	12月13日	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		
第7回	12月20日	Lesson 10 Fighting Angel	35回・36回		pp 134~145				
第8回	1月10日	Lesson 10 Fighting Angel Reading 2 Bear's Pie	37回・38回		pp 134~145 pp 148~153	11	1月17日		
第9回	1月17日	Reading 2 Bear's Pie	26回・29回		pp 148~153	12	1月24日		
テスト	1月31日	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）		受験したら○→			受験しなかった場合は再試を申し込みましょう		

履修上の注意	英語は自分で学ぶのが大変なので必修が多くなっています。必ずスクーリングに出席しましょう。
--------	--

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件		必履・選択必履・選択の別	担当教員
家庭	消費生活	なし		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	レポート・放送視聴票最終締切
後期 2	後期 9	後期 6	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・ 学習書等	実教出版(文部科学省著作)(家庭708) 「消費生活」	対応視聴番組	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
		教科担当の指示による		
学習の到達目標				
家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、消費者の視点に基づく豊かな消費生活の実現を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度
経済社会の動向、消費者の権利と責任、消費者と行政や企業との関わり及び連携の在り方、持続可能な社会を目指したライフスタイルなどに関する知識を体系的に理解しているとともに、それらに係る技術を身に付けている。		消費者被害の未然防止や救済、消費者と行政、企業との関わりや連携の在り方、消費生活上の環境問題についての課題を発見し、その解決に向けて考察し、消費者の視点をもった職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。		消費者、生産者、販売者それぞれの立場から企業、行政、消費者が連携して持続可能な社会の形成や生活の質を向上させる消費者支援について考え、主体的に活動し表現しようとする態度を身に付けている。

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲(レポート番号)	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	10月4日	社会を支える消費者		P1~P19 P152~157	1	11月8日		
第2回	10月11日	〃						
第3回	11月8日	消費者被害と消費者の権利・責任 消費生活の安全の確保		P20~P43	2	11月15日		
第4回	11月15日	信頼できる自由の確保・情報の確保		P43~P71	3	11月29日		
第5回	11月29日	消費者の自立支援・生活の中の契約と責任 複雑・多様化する販売方法と悪質商法		P72~P91	4	12月6日		
後期	第6回	12月6日	消費者取引と関連法・電子商取引と消費生活 多様化する支払方法と資金調達	P91~P118	5			
	テスト	12月13日	第1回テスト(範囲:レポート1, 2, 3)	受験したら○➡		受験しなかった場合は 再試を申し込みましょう		
	第7回	12月20日	消費者取引と関連法・電子商取引と消費生活 多様化する支払方法と資金調達	P91~P118	5	1月10日		
	第8回	1月10日	環境と消費者	P119~P151	6	1月17日		
	第9回	1月17日	まとめ					
	テスト	1月31日	第2回テスト(範囲:レポート4, 5, 6)	受験したら○➡		受験しなかった場合は 再試を申し込みましょう		

履修上の注意

日曜

3年

教科名	科目名	履修条件		必修・選択必修・選択の別	担当教員
商業	情報処理	なし		選択	
単位数	開講時間数	必要面接時間数	テスト回数	レポート枚数	最終締め切り日
前期 2	前期 9	前期 4	前期 2	前期 6	前期 9月 2日
後期 2	後期 9	後期 4	後期 2	後期 6	後期 1月27日

教科書・学習書等	実教出版「商業007-906」情報処理Prologue of Computer ・ 30時間でマスター Word & Excel 2024	成績評価の方法	学習態度、レポート、テストの成績を総合的に評価
学習の到達目標			
表計算ソフトウェアやワープロソフトウェア・プレゼンテーションソフトウェアの操作を学習するとともに、これらを活用して、わかりやすいビジネス文書を作成するための知識と技術を身に付ける。			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
企業において情報を扱うことについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。	企業において情報を扱うことに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決できるようになる。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業において情報を適切に扱うことに主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	

## 面接指導計画

回	月日	指導内容・テスト及びその範囲（レポート番号）	出席記録	教科書範囲	レポートNo.	提出期限	送付・提出した日	レポート受取日
第1回	4月19日	情報処理の重要性、情報モラルと法規、コミュニケーションと情報デザイン		P1～38	1	4月26日		
第2回	4月26日	コンピュータシステムの概要		P40～59	2	5月10日		
第3回	5月10日	情報通信ネットワークのしくみと構成、インターネットの活用、情報セキュリティの確保		P60～90	3	5月17日		
第4回	5月17日	ビジネスと統計		P92～99	4	5月31日		
第5回	5月31日	関数を利用した表の作成① 合計・平均・最大・最小		P100～111	5			
第6回	6月7日	関数を利用した表の作成② 件数・条件・端数処理		P112～118	5			
テスト	6月21日	第1回テスト（範囲：レポート1, 2, 3）	受験したら○→					受験しなかった場合は再試を申し込みましょう
第7回	6月28日	関数を利用した表の作成③ 順位付け・文字列操作		P119～129	5・6	7月5日		
第8回	7月5日	関数を利用した表の作成④ 行列の検索・条件付き集計		P130～134	6			
第9回	8月23日	関数を利用した表の作成⑤ データの結合・文字列の検索		P135～143	6	8月30日		
テスト	9月6日	第2回テスト（範囲：レポート4, 5, 6）	受験したら○→					受験しなかった場合は再試を申し込みましょう

第1回	10月4日	グラフの作成、種類と概要、基本的なグラフの作成		P144～149	7			
第2回	10月11日	グラフの作成、応用的なグラフの作成と活用		P150～161	7	10月25日		
第3回	10月25日	情報の整列・検索・抽出、問題の発見と解決の方法		P162～176	8	11月8日		
第4回	11月8日	ビジネス文書と表現		P178～183	9	11月15日		
第5回	11月15日	基本文書の作成（1）		P184～198	10			
第6回	11月29日	基本文書の作成（2）		P199～219	10	12月20日		
テスト	12月13日	第3回テスト（範囲：レポート7, 8, 9）	受験したら○→					受験しなかった場合は再試を申し込みましょう
第7回	12月20日	応用文書の作成		P220～236	11	1月10日		
第8回	1月10日	プレゼンテーション		P238～259	12	1月17日		
第9回	1月17日	エクセル応用課題実習						
テスト	1月31日	第4回テスト（範囲：レポート10, 11, 12）	受験したら○→					受験しなかった場合は再試を申し込みましょう

履修上の注意	スクリーニングでは実習を多く取り入れて、パソコンを操作しながらワープロや表計算ソフトの活用法を学習する予定です。一度休むと分からなくなりやすいので、休まずに出席してください。
--------	---